

## 令和 2 年度 墨田区立二葉小学校 経営報告書

令和 3 年 3 月 1 0 日

学 校 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でつくる丈夫な体</li> <li>・自分で取り組む確かな学力</li> <li>・自分で深める温かく強い心</li> <li>・みんなで築く楽しい生活</li> </ul>
目 指 す 学 校 像	<p>人間尊重の精神に徹し、自己を確立しながら、広く国際社会に生きる人間性豊かな実践力のある児童の育成に努める。</p> <p>そのために、次の4つを柱にして全教職員が一丸となって活力に満ちた学校づくりをする。</p> <p>(1) 教育目標が児童の日々の生活に目に見える姿として表れている学校</p> <p>(2) 心の通い合う温かさがあり、明るく清潔で安全な教育環境をつくり出す学校</p> <p>(3) 教育機能発揮に向けて、保護者や地域、関係者と連携して児童を育む学校</p> <p>(4) 教育への使命感と責任のもと、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校</p>
目 指 す 子 供 像	<p>(1) 自分から進んでたくましい体力をつくるとともに安全に生活する態度を育てる。</p> <p>(2) 自分から進んで学習に取り組み正しく判断し創造的に解決に当たる態度を育てる。</p> <p>(3) 自他を大切にし、思いやりの心を深めながらねばり強くやり遂げる実践的な態度を育てる。</p> <p>(4) 集団の一員としての自覚を深めながら協力して仕事をし、楽しい生活を築く態度を育てる。</p>
目 指 す 教 師 像	<p>(1) 教育への使命感と責任をもち、保護者や地域、関係者と連携して児童を育む。</p> <p>(2) 協働と研鑽を重ね、自らの指導力向上に努める。</p>

## 1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	・令和2年7月に実施した墨田区学習状況調査で、ほぼ全観点において目標値を上回った。理科については、児童の生活経験と照らし合わせた課題設定を工夫するなど、改善を図る。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	・特別支援巡回教員と学校が連携し、組織的に指導・支援を進めた。個別最適の支援の充実を図るため、支援の仕方の理解を研修等で一層深める。	B	B
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	A	・キャリアパスポートを活用し、適宜学校生活を振り返り、児童の成長を捉えさせることに努めた。継続して自尊感情を高めるための活動の充実を図る。	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	・校内研究会を通して、児童が学びに向かう力を育むための指導について追究した。次年度は、今年度の内容を踏まえて、研究内容を深めていく。校内OJTも組織的に進めていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の関心を引き出しながら授業を展開していた。</li> <li>・ICTの効果的な活用など、学校の今後の取組に期待したい。</li> </ul>		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	・生活アンケートや年3回のいじめに関する授業、道徳授業を実施し、児童の意識が高まるように努めた。早期発見、解決を目指し教職員が組織的に取り組む。	B	B
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	・あいさつについて、「あいさつスタンプラリー」等の取組によって向上した。校外でもより積極的にあいさつができるよう、働きかけを継続する。道徳の重点指導項目を「善悪の判断、自律、自由と責任」、「親切、思いやり」、「規則の尊重」、「生命の尊重」として継続し、心の教育の充実を図る。	B	B
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	・学校の新しい生活様式に基づいて、学校生活の安全な行動について指導の工夫を行った。環境整備、毎月の避難訓練などで、安全への意識を高め、取組を充実させる。	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	A	・運動会、展覧会後に、また、学校評価としてアンケートをとり、よりよい教育活動への改善に努めた。アンケート結果に基づいて改善を図るP D C Aサイクルを充実し、一層の改善に努めていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内で元気に挨拶をする児童が多く、素直で明るい児童の表情が印象的であった。</li> <li>・不登校やいじめの問題について、学校全体での取組を更に充実させてほしい。</li> </ul>			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	・教職員は、経営方針に基づいて目標を設定し、進捗状況を確認しながら組織的に学校運営に取り組んだ。継続して、主幹教諭を中心に、学校組織の充実を図っていく。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	A	・1月に学校独自の学力調査を実態に基づいて全学年実施し、学力の状況の把握に努めた。学習面の振り返りだけでなく、生活アンケートやキャリア・パスポートを活用し、児童理解に努めた。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数増加による施設環境の課題について、運用の工夫をするとともに、施設の改善を関係機関と連携して進めている。</li> <li>・G I G Aスクール構想による一人一台のタブレット端末の貸与の準備や活用を進めた。</li> </ul>	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材、物的な資源の活用を一層進め、教育活動の効果を上げてほしい。</li> </ul>			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	・ホームページでは、保護者専用ページの充実を進めた。学校の新しい生活様式に合わせた行事や公開の進め方、ホームページの一層の充実を図り、情報発信に努める。	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・学校図書館、ぐんぐんのびる二葉タイム、運動会、登下校等、様々な場面で地域・保護者ボランティアの協力を得て、教育活動を進めた。今年度は、感染症対策のため十分にできない面があったので、連携の仕方を検討し進めていく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との協力体制ができています。開校115周年記念式典も地域、PTAの協力のもと、記念に残る行事となった。</li> <li>・コロナ禍の中での地域行事への参画・参加の在り方の検討が必要である。</li> </ul>			

## 様式 4

### 2 令和2年度学校評価のまとめ

評価結果と感染症対策を踏まえて、学校目標実現のために学校行事等の計画を図るなど、令和3年度の教育課程を編成し実施していく。

更なる学力の向上のために、特に理科においては意欲を高めるために導入や実験の工夫をし、授業改善に努めていく。また、すみだGIGAスクール構想に基づいて、一人一台のタブレット端末を学習の用具として有効に活用し、学習の充実を図る。

不登校やいじめ問題などに対して学校は組織的に解決に取り組む。また、家庭や地域、関係諸機関とも連携して児童のよりよい成長につなげていく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立二葉小学校 校長 山崎 隆 公印